

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に伴う市長メッセージ (8.19)

緊急事態宣言期間が9月12日(日)まで延長されました。

所沢市においても、過去最大のスピードで感染が拡大しており、これまでの月間感染者数の最大値は、令和3年1月の425人でしたが、8月1日から18日現在で、すでに948人となっています。

特に20代から30代の感染者数が増えております。飛沫感染を防いでください。そういう場を作らないことです。

また、「家庭内感染」も非常に増えております。家庭内であっても気をつける点は同じです。

医療機関についても、このまま感染拡大が続けば、入院患者を受け入れることが困難となる状況です。

皆様におかれましては、今一度、「3密を避ける」「マスクの着用」「こまめな手洗い」「部屋の換気」「飲食の場面での感染症予防」など、感染防止対策の徹底をお願いいたします。

また、不要不急の外出・移動はできる限り控えてください。

外出する必要がある場合にも、極力家族や普段行動をともにしている仲間と少人数で、混雑している場所や時間帯を避けて行動してください。

市といたしましても、感染対策の切り札ともいわれる新型コロナワクチン接種を全力で進めています。

市民の皆様が、一日も早く日常を取り戻すために、そして、コロナ禍で苦しい状況にある皆様が一歩早く経済活動を再開するためには、一人ひとりの賢い行動が鍵となります。皆様の改めてのご協力をお願いいたします。



【高齢者いたわり部会】
集まれ！とこちゃん仲間

日程	会場
9月10日(金)	ラク所沢 室内履きをお持ちください 原則第2金曜
10月8日(金)	新所沢東 まちづくりセンター 原則第4金曜
9月24日(金)	
10月22日(金)	

とこちゃん体操は所沢市独自の健康体操です。
1回約10分の体操で座ったままでも行えます。

【時間】午前9時30分～10時45分

【持ち物】運動しやすい服装・運動靴

(室内履き)・水分補給用の飲み物

【問合せ】しんとこイーストネット

高齢者いたわり部会

原 部会長：TEL 04-2942-3741

佐久目 副部会長：TEL 04-2993-3054



まちづくりセンター利用者みなさまへ
新型コロナウイルス対策に伴うお願い

7月下旬以降、新型コロナウイルスの急速な感染拡大に伴い、日々全国での感染者数が過去最多を更新するなど、これまでにない状況となっております。

各種窓口利用、公民館施設利用、事業への参加時は、**手指の消毒・マスク着用**等、引き続き感染防止対策にご協力くださいますようお願い申し上げます。

また、今も感染拡大のピークが見えない状況となっておりますので、今後の公民館事業の開催や貸館については、引き続き市ホームページの最新情報をご確認ください。

これからの“しんとこ東”を創造する

今回は、松葉町在住の 齋藤 しのぶ さんからお話を伺います。齋藤さんは美原小・中学校、所沢北高校の卒業生で生まれも育ちも新所沢東地区の方です。普段は子育ての合間に公民館でサークル活動に参加されたり、公民館事業のボランティアスタッフとして携わられたりしている他、スポーツ協会役員として地域活動にもご尽力されています。今回は子育て世代の目線で、新所沢東地区について考えていきます。

公民館や地域との関わり

初めて公民館に来たきっかけは、子育てサークルに参加したことでした。初めての子育てで不安だった時に、地域で同じように子育てをしている人と横のつながりができ、また、幼稚園に通っている子どものママさんからお話を聞いて、様々なことを教えてもらいました。

その後、子どもが小学生になってからは、東公民館主催の「なつやすみ子どもひろば」に子どもたちが参加し、現在は私も講座のボランティアとして携わっています。チャダンス教室参加時は北高生、吹き矢教室参加時は公民館サークルの方が指導してくださり、子どもたちは**地域の様々な世代の方と交流ができ**大変ありがたい経験をさせていただいています。

地域行事については、私の子どもころから続いている夏祭りや地区運動会等楽しいイベントが多数ありますが、大人になってから、地域の多くの方々のご尽力でそれらの行事を開催できていることを知り、ありがたく思っています。今も昔も行事への地域の協力がとても手厚いと感じています。



「なつやすみ子どもひろば」に携わる齋藤さん(写真右)

コロナ禍で大変だったこと

昨年度私の子どもは中3と小5の学年でしたが、1年間ほとんどの学校行事が中止(修学旅行、林間学校等)となり楽しいことが減ってしまった上、臨時休校で学習のペースが乱れたり、子ども同士の交流が減少したりするなど、子どもたちにとって辛い日々となりました。今年度もコロナ以前には戻らず、**子どもたちは我慢の日々が続いています**。特に下の子は、最高学年を迎える前の1年間で、本来得られたであろう成長(林間学校での学び、学校行事等で低学年のサポートをすることなど)を得られないまま、過ごしてしまい、今後の人生にどう影響するのか心配に思います。

地域活動に一步を踏み出す勇気

コロナ以前はあたり前だった生活(勉強、学校・地域行事、部活など)が失われ、人との交流が減少したことで地域での人のつながりが弱くなってしまい、コロナ終息後に自分たちはどうなっていくのか不安に感じます。

それに向き合うためのカギとなることは、「**地域活動に一步を踏み出し、積極的に参加する勇気**」だと思います。私が初めて地区の役員になった時、上の世代の方々との関係性や子育て・仕事等で忙しいのにできるかという不安もありましたが、一步を踏み出して参加してみると、徐々に地域の方の顔もわかるようになり、活動も楽しくなっていました。

今後、地域の担い手がいかに世代交代していくかが課題だと思います。子育てや仕事で忙しい方が多い中、現実は大変かもしれませんが、一步を踏み出すことによって私たちの未来がよりよい方向へ変わっていくきっかけとなるかもしれません。

齋藤 しのぶ